

障がいのある人もない人も  
共に生きる社会をつくらう  
〜共生する山形へ〜

Vol.12

## 真室川 仕事見聞録

～働く現場へ突撃インタビュー!!～

株式会社 庄司製材所

今回は、東北地方でも有数の規模を誇る製材メーカーとして業界をけん引し、バイオマスや熱利用など、環境問題にも取り組んでいる庄司製材所さんにご協力をいただき、働く方にインタビューしました。

**Q. 就職を決めたきっかけはなんですか？**

**佐藤** 前職でも製材の仕事をしていたので、町内で同じような仕事をしたかったと思います。

**庄司** 子どもとの時間を大切にしたいと思い、通勤時間などを考え就職しました。



丸太の大割り作業

**Q. 仕事の内容と勤めてみての感想**

**佐藤** 運ばれてきた丸太を専用の機械で大割りに切ったりしています。庄司製材所の各工場では、工場長という役職がなく、上も下もないので、働く全員で協力し合って作業を行っています。そのため、

一人ひとりが責任をもって、連携した作業が行えていると思います。

**庄司** 悪くなった帯鋸の刃を研磨する目立て作業や、不良となった機械の修理などを行っています。夏は暑く、冬は寒いので、体にこたえる時もあります。若い人たちが頑張っているのを見ると元気をもらえます。職場全体が和気あいあいとしていて、楽しく働いています。

**Q. 仕事をやる上で心がけていることはありますか？**

**佐藤** ケガをしないように、安全第一に考え作業を行っています。回りの連携も大切なので、コミュニケーションをとるように心がけています。



帯鋸の研磨作業

**Q. やりがいはなんですか？**

**庄司** 帯鋸の研磨を怠ると、生産性の低下や、品質の低下の原因となり、全体の作業に係るので、現場の声もしっかりと聞きながら、抜けない作業を心がけています。

**佐藤** 同じように見える丸太でも一本一本違うので、丸太の性質を見極め、木を無駄なく使い、よりよい製品を作るためには、長年の経験と勘が必要なんです。丸太を見極めて製材するのも楽しさの一つです。

**庄司** 一日一日、毎作業ごと確実に作業を行い、働く人たちが働きやすい環境を作ること、良い製品、満足のいく製品をお客さまの手に届けることがやりがいだと思います。



(株)庄司製材所

真室川町大字大滝108-2  
代表取締役社長:庄司 和敏



庄司 直樹さん



佐藤 直人さん

※「事業所をPRしたい」といったお考えをお持ちの方は、ぜひ町企画課までご連絡ください。

Instagram

フォトジェニックまむろ

#photogenicmamuro

第六九回

雪の訪れが遅い、今冬の真室川。毎年変わらずに繰り返されることの豊かさを感じられます。健やかな令和4年をお迎えしましょう。

「フォトジェニックまむろ」への参加は、写真投稿型SNSのInstagramに#photogenicmamuroのハッシュタグを付けて投稿するだけ。皆様の投稿をお待ちしています。



選出・講評 「秋から冬に変わりいよいよ今年も残りわずかとなりました。みなさん良い年末を過ごしましょう！」

by NY(神室産業高校真室川校2年生・ペンネーム)

#奥羽山脈 #残り柿  
ID: songzechuny157

Date: 11/30